

英語科学習指導案 第1時 (1/9)

1. 学習目標

ファックスや Mike と Emi の対話文を読んで、その内容が理解できる。
英文と日本語の構造からその違いを理解しながら、if ~、I think that ~ を含んだ英文が読める。

2. 準備

教師：本文拡大シート、掲示用カラー（青・赤・黄）カード、会話練習カード1、
ヒントカード1、振り返りカード1、Flash Card、Picture Card

生徒：教科書

3. 展開

時間	主な学習活動	形態	指導上の留意点および支援の工夫	評価項目・方法
10分	<p>Warming up</p> <ul style="list-style-type: none"> 挨拶をする。 既習事項を用いた会話をする。 <p>本時の学習内容を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> Picture card と拡大ファックス文から内容を想像する。 	全	<ul style="list-style-type: none"> 一人一人、学習したことを生かせるよう状況に応じて、話すようにさせる。 Picture card と拡大ファックス文を提示することで、内容の概要を想像させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 進んでコミュニケーションを図ろうとしている。（発表の観察）
30分	<p>ファックス文を聞いて、その概要を考える。（教科書 P 5 0）</p> <ul style="list-style-type: none"> CD の model reading を聞く。 教師の model reading を聞く。 本文を黙読する。 内容について、簡単な質問に答える。 本文を音読する。 チャンクに分けて英文和訳する方法を聞く。 <p>【Let's visit her if you have a time.】 【If you can go with me to the hospital, please call me.】</p> <ul style="list-style-type: none"> 新出語句について、発音する。 全文を英文和訳する。 音読練習する。 <p>会話文を聞いて、その概要を考える。（教科書 P 5 1）</p> <ul style="list-style-type: none"> CD の model reading を聞く。 教師の model reading を聞く 本文を黙読する。 内容について、簡単な質問に答える。 本文を音読する。 チャンクに分けて英文和訳する方法を聞く。 <p>【I think we need another parking area.】 【I think so, too.】</p> <ul style="list-style-type: none"> 新出語句について、発音する。 全文を英文和訳する。 2人で、音読練習する。 <p>if ~ や I think that ~ について、場面や状況を考えて、pattern practice をする。（会話練習カード）</p> <ul style="list-style-type: none"> if ~ について、会話する。 I think that ~ について、会話する。 P 5 1・P 5 2 を一人が音読し一人が、日本語にする練習をする。 	全	<ul style="list-style-type: none"> ファックスの内容から「どうしてこんなことが起こったのか？」の疑問を持ち、問題解決のために、次第に考えが深まっていく内容なので、概要のポイントは、しっかり押さえ、知らせていく。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>英語を日本語にするとき、If ~ を含んだ文を取り上げ、日本語と英文の構造の違いに目を向け、三色の付箋紙を用いて、説明することにより視覚からもその違いを確認し、英文の理解を図る。</p> </div> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">文構造理解</p> <ul style="list-style-type: none"> チャンクに分けることで、日本語にしやすいことを確認させる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>英語を日本語にするとき、I think that ~ を含んだ文を取り上げ、日本語と英文の構造の違いに目を向け、三色の付箋紙を用いて、説明することにより視覚からもその違いを確認し、英文の理解を図る。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> If ~ を含んだ文、I think that ~ を含んだ文に慣れさせるために、繰り返し言わせる。 その際、What do you think? も補助文として提示し、会話させる。 次時の内容へ考えが深まるように、自分の言葉で、本文の概要をまとめるなどして、内容を確実に理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 英文・日本語の文構造に目を向けながら、ファックスと対話文の内容が正しく理解できる。（観察）
10分	<p>学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 今日の話の内容の概要・新出語句・文についてを確認し、復習する。 学習の態度や内容の理解の確認のために、振り返りカード1に記入する。 <p>次時の内容について聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> 基本文について、文構造を理解することを 	個	<ul style="list-style-type: none"> 今日学習したことで、理解できなかったこととできないことを確認し、支援するために、振り返りカードを記入する。また、コメントを生徒に与えることで、意欲をもたせる。 	
		全	<ul style="list-style-type: none"> 日本語と英文の文構造の違いを知ること、「書くこと」がよりできるようになることを知らせる。 	

英語科学習指導案 第2時 (2/9)

1. 学習目標

If ~ や I think that ~ の文構造を、日本語と英文の違いから理解できる。
If ~ や I think that ~ を用いた様々な文が語順を考えながら読め、内容が理解できる。

2. 準備

教師：・ 掲示用カラー（青・赤・黄）カード、基本文シート、
カラー付箋紙（赤・青・黄）【英文を日本語にしましょう】カード
会話練習カード2 - 、振り返りカード2
生徒：教科書、ヒントカード1、会話練習カード1 -

3. 展開

時間	主な学習活動	形態	指導上の留意点および支援の工夫	評価項目・方法
10分	<p>Warming up</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 挨拶をする。 ・ 既習事項を用いた会話をする。 <p>前時の復習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本文 P 5 0 ・ P 5 1 を音読する。 ・ 話の内容とどんな場面で if ~ 、 I think that ~ が使われたか確認する。 	全	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前時の既習の単語・基本文を繰り返し返し、言わせ覚えさせる。 ・ 前時までの本文の内容を確認させる。 ・ 状況や場面での使われ方とも関わって文を思い出させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 進んでコミュニケーションを図ろうとしている。（発表の観察）
30分	<p>if ~ の文構造について理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 基本文【If you can go, please call me.】の文構造を知るために、ワークシートと付箋紙を使って、教師と共に操作活動をする。 ・ 【英文を日本語にしましょう】カードを使う。 ・ （英文を日本語にする順序） 日本語にする英文を書く。 チャンクに分けるために斜線を引く。 チャンクに分けた英語を赤・青・黄色の付箋紙に書く。 付箋紙の裏に日本語を書く。 語順を入れ替えて、日本語を作る。 ・ 【英文を日本語にしましょう】カードに記入する。 ・ 例文で、文構造を考えながら、和訳する。 <p>I think that ~ の構造について理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 基本文【I think (that) we need a parking area.】についても If ~ の文構造と同様に操作作業をする。 ・ 例文で、文構造を考えながら、英文を日本語にする。 <p>If ~ 、 I think that ~ を用いた会話練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 会話練習カード 2 - を使って、練習する。 	個	<ul style="list-style-type: none"> ・ If (もし ~ ならば) (黄付箋紙) は、従属節の先頭に置くことや、主語(何が) (赤付箋紙) 述語動詞 (~ した) (青付箋紙) が理解しやすいように、カラー付箋紙で色分けし語順を考えさせる。 ・ 語順に目を向けながら、練習を重ねることによって、If ~ 、 I think that ~ を用いた会話に慣れさせる。 ・ 次第に自ら語順や文の内容を考えて、話せるように工夫したワークシート 2 - を用いて会話練習させる。 ・ if ~ 、 I think that ~ を用いた英文が場面や状況に応じて正しく書けるように、繰り返し練習をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ if ~ の文構造について理解し、本文の内容を理解する。（ワークシート） ・ If ~ 、 I think that ~ を用いた文を文構造を考えながら、話せる。（会話練習の観察）
10分	<p>学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 振り返りカード 2 に記入する。 <p>次時の内容について聞く。</p>	個 全	<ul style="list-style-type: none"> ・ 繰り返し、発音することで、If ~ 、 I think that ~ を用いた文に慣れ活用できるかを確認する。 ・ 生徒自身の生活に生かせる文が書けるよう if ~ 、 I think that ~ を用いた文を書く練習をすることを知らせる。 	

英語科学習指導案 第3時 (3/9)

1. 学習目標
 英文の文構造を知って、if ~ や I think that ~ の文を用いて、簡単な英文が書ける。
 アンケートを行い、会話することにより、学習した英文を日常に生かす。

2. 準備

教師： 掲示用カラー（青・赤・黄）カード、【日本語を英文にしましょう】カード、
 会話練習カード3 - 、カラー付箋紙（赤・青・黄）
 アンケート【質問カード】【集計カード】
 振り返りカード3、
 生徒： 教科書、辞書、ヒントカード1、会話練習カード1 - 、会話練習カード2 -

3. 展開

時間	主な学習活動	形態	指導上の留意点および支援の工夫	評価項目・方法
10分	Warming up ・挨拶をする。 ・既習事項を用いた会話をする。 前時の学習の復習をする。 ・学習した英文の音読練習する。 本時の学習内容を理解する。 ・If ~ ・I think that ~ の文を用いて、英文を書いたり、読んだりして、それを基に、アンケート調査することを知る。	全	・日常の挨拶や会話の中に復習事項を加えて、挨拶の内容を少しずつ膨らませていく。 (例) 【How is the weather?】 【It's rainy】 【If it's sunny, What will you do?】 ・友達とアンケート調査をしながら、会話することで学び合い、if ~ ・I think that ~ の使い方に慣れさせるとともに、次時につなげる。	・進んでコミュニケーションを図ろうとしている。(発表の観察)
30分	文構造から、日本語を英文にする練習をする。 ・砕けた日本語【あなたが行ければ、私に電話してね。】から英文を作る練習を操作活動を通して行う。 (日本語を英文にする順序) 日本語を書く。 チャンクに分けるために斜線を引く。 チャンクに分けた日本語を赤・黄色・青の付箋紙に書く。 付箋紙の裏に英語を書く。 語順を入れ替えて、英文を作る。 ・【日本語を英文にしましょう】カードに記入する。 【日本語を英文にしましょう】カードを用いて、与えられた日本語を英文にする。 会話練習カード3 - を用いて、繰り返し会話練習する。 アンケート調査をしよう。【質問カード】 Do you hear about parking area? I think that we need another parking are What do you think?----- I think so, too./I don't think. 駐輪場は必要かどうかについて I think that Family is important. What do you think?----- study/family/dream/money/play 大切な物/ことは何かについて	個 ペア	・【日本語を英文にしましょう】のワークシートの手順に従って、日本語と英文の文構造の違いをカラー付箋紙を用いて、語順を移動させることによって、視覚からも理解することで、容易に、英文ができることを知らせる。 ・英文が書けない生徒には、この方法で、ワークシートと付箋紙を使わせる。書ける生徒は、この操作を頭の中で行うよう支援する。 ・作った英文は、ワークシートに記入し、繰り返し音読したり、訳したりして、使わせる。 ・場面や状況に応じて、if ~ の文や I think that ~ の文を書き、会話練習させることで、その使い方や言い方に慣れさせる。 ・話をつなげる言葉として、 【What do you think?】を知らせる。 ・アンケート調査の結果を以後、学習する意見文を書くことに利用できるよう整理しておくよう支援する。	・If ~ ・I think that ~ の文を用文構造について、理解でき、英文が書ける。(ワークシート) ・学習した英文を日常の中で使い、話せる。(ワークシート)
10分	学習を振り返る。 ・振り返りカードに記入する。 次時の内容について聞く。	個 全	・日常でよく使う英文をしっかりと覚えられるよう繰り返し音読するよう支援する。 ・駐輪場についての新聞記事とそれについての意見文について学習することを話す。	

英語科学習指導案 第4時 (4/9)

1. 学習目標

英字新聞の記事を読んで、その内容を理解し問題提起されたことについて考えることができる。
記事に対する意見文を読んで、その内容を理解し、提案された大切なことは何かを読み取る。

2. 準備

教師： 掲示用カラー（青・赤・黄）カード、会話練習カード4、
本文拡大シート、カラー付箋紙（赤・青・黄）、振り返りカード4、
Flash Card、Picture Card

生徒：教科書、ヒントカード

3. 展開

時間	主な学習活動	形態	指導上の留意点および支援の工夫	評価項目・方法
10分	<p>Warming up</p> <ul style="list-style-type: none"> 挨拶をする。 既習事項を用いた会話をする。 <p>前時の内容について、復習する。</p> <ul style="list-style-type: none"> Kumi が自転車 が倒れてけがをしたことやそれについてどう思ったかについて思い出す。 <p>本時の学習内容を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> Kumi の事故の後、「市が決定したことは何か。」また、「問題提起されたことは何か。」について読み取る課題を知る。 	全	<ul style="list-style-type: none"> 前時の内容を覚えているか確認し、重要文を確認する。 記事の問題提起は何か。読み取りのポイントを知らせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 進んでコミュニケーションを図ろうとしている。（発表の観察）
30分	<p>英字新聞の記事（教科書 P 5 2）を読んで、その概要を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> CD の model reading を聞く。 教師の model reading を聞く 本文を黙読する。 内容について、簡単な質問に答える。 本文を音読する。 チャンクに分けて英文和訳する方法を聞く。 <p>【People complained when a bike fell on a little girl (Ishii Kumi) near station】</p> <ul style="list-style-type: none"> 新出語句について、発音する。 全文を英文和訳する。 二人で、音読練習する。 <p>英字新聞の記事に対する意見文（教科書 P 5 3）を読んで、その概要を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> CD の model reading を聞く。 教師の model reading を聞く 内容について、簡単な質問に答える。 本文を音読する。 チャンクに分けて英文和訳する方法を聞く。 <p>【I am against the plan because we need our parks.】</p> <ul style="list-style-type: none"> 新出語句について、発音する。 全文を英文和訳する。 二人で、音読練習する。 <p>when 節文や because 節文について、場面や状況を考えて、pattern practice をする。（会話練習カード4）</p> <ul style="list-style-type: none"> when ~ について、会話する。 because ~ について、会話する。 P 5 2・P 5 3 を一人が音読し一人が、和訳する練習をする。 	全 全 ペア	<ul style="list-style-type: none"> 教科書をよく見て、音と spell を対応させながら、聞くようにさせる。 キーセンテンスから、自分の考えが言えるよう考えさせる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>英文を日本語にする際、when ~ を含んだ文を取り上げ、日本語と英文の構造の違いに目を向け、カラーカードを用いて、説明することにより視覚からもその違いを確認し、英文の理解を図る。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> 大切なことが、箇条書きになっていることに気付かせる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>英文を日本語にする際、because ~ を含んだ文を取り上げ、日本語と英文の構造の違いに目を向け、カラーカードを用いて、説明することにより視覚からもその違いを確認し、英文の理解を図る。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> 繰り返し、言うことで、when ~ を含んだ文、because ~ を含んだ文に慣れさせる。 記事とそれに対する意見文の内容を理解し、今後書く意見文の参考にさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 英字新聞の記事を読んで、その内容を理解し、キーセンテンスについて、考えながら、自分の考えがもてる。（ワークシート） 英文・日本語の文構造に目が向けられる。（観察） 記事に対する意見文を読んで、その内容を理解することができる。（ワークシート）
10分	<p>学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 振り返りカードに記入する。 <p>次時の内容について聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> 基本文について、文構造を理解することを知る。 	個 全	<ul style="list-style-type: none"> P 5 2・P 5 3 の内容と大切な文を今後の課題のために、しっかりと押さえる。 第2時の基本文の文構造について思い出させ、同様に練習することを知らせる。 	

英語科学習指導案 第5時 (5/9)

1. 学習目標

when ~ や because ~ の文構造を日本語と英文の違いから、理解できる。
when ~ や because ~ を用いた様々な文が語順を考えながら読み、身近な生活経験の会話ができる。

2. 準備

教師：掲示用カラー（青・赤・黄色）カード、会話練習カード5

【英文を日本語にしましょう】カード

カラー付箋紙（赤・青・黄）、振り返しシート5、Flash card、Picture card

生徒：教科書、辞書、会話練習カード4

3. 展開

時間	主な学習活動	形態	指導上の留意点および支援の工夫	評価項目・方法
10分	<p>Warming up</p> <ul style="list-style-type: none"> 挨拶をする。 既習事項を用いた会話をする。 <p>本時の学習内容を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> when ~ や because ~ の文構造について、if ~ や I think that ~ で学習したように操作活動を知ることを知る。 	全	<ul style="list-style-type: none"> 前時の既習の単語・基本文を繰り返し言わせ、覚えさせる。 前時までの本文の内容を確認させる。 状況や場面での使われ方とも関わって文を思い出させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 進んでコミュニケーションを図ろうとしている。（発表の観察）
30分	<p>when 節の文構造について理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 【People complained when a bike fell on Kumi.】の文構造を知るために、ワークシートと付箋紙を使って、教師と共に操作活動をする。 【英文を日本語にしましょう】ワークシートを使う。 （英文を日本語にする順序） 英文を書く。 チャンクに分けるために斜線を引く。 チャンクに分けた英語を赤・青・黄色の付箋紙に書く。 付箋紙の裏に意味を書く。 語順を入れ替えて、日本語を作る。 【英文を日本語にしましょう】カードに記入する。 例文で、文構造を考えながら、和訳する。 <p>の文構造について理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> when 節の文構造と同様操作活動を行う。 【I am against the plan because we need our plan..】 <p>when ~ because ~ を用いた会話練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 会話練習カード5 - を使って、会話練習する。 <p>場面設定をして、友達に質問する。</p> <p>When did you walk? When I was ten month old, I walked. When did you complain? I complained when I had many homework. etc.</p> <p>Do you like ()? Yes. Why did (do) you like ()? Because she is tender. ect.</p> <p>Do you have a cel-phone? Why do you have? Because I talk with my friend .</p>	全 全 ペ ア	<ul style="list-style-type: none"> when (~ のときに)(黄付箋紙)は、従属節の先頭に置くことや、主語(何が)(赤付箋紙)述語動詞(~ した)(青付箋紙)が理解しやすいように、カラー付箋紙で色分けし提示する。 語順に目を向けながら、練習を重ねることによって when 節、because 節を用いた会話に慣れさせる。 次第に自ら語順・文の内容を考えて、話せるように工夫した会話練習カード5 - を用いる。 when ~、because ~ を用いた英文が場面や状況に応じて正しく書けるように、繰り返し話す練習をする。 <ul style="list-style-type: none"> 様々な会話ができるように、When do you play? や Why do you (like) ? 等補助文も与える。 日常使える会話文を提示し、練習させる。 学習した英文が日常で使えるよう身近な話題で話させる。 	<ul style="list-style-type: none"> when 節 や because ~ の文構造について理解することで、文の内容が理解できる。（ワークシート） when 節 や because ~ の文構造を考えながら話せる。（会話練習の観察）
10分	<p>学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 振り返しカード5に記入する。 <p>次時の内容について聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> when ~ や because ~ を用い今までより更に長く詳しく文が書けることを知り、次回、書くことを知る。 	個 全	<ul style="list-style-type: none"> 繰り返し、発音することで、when ~ や because ~ を用いた文に慣れたかを確認する。 when ~ や because ~ を用いた文を書くことを知らせる。 	

英語科学習指導案 第6時 (6/9)

1. 学習目標

when ~ や because ~ を用いた様々な文で語順を考えながら身近な生活の様子が書け、会話ができる。

2. 準備

教師：・ 掲示用カラー（青・赤・黄色）カード、会話練習カード6、英文作成カード
【日本語を英文にしましょう】カード、カラー付箋紙（赤・青・黄）
振り返りカード6

生徒：教科書、辞書、会話練習カード4、会話練習カード5

3. 展開

時間	主な学習活動	形態	指導上の留意点および支援の工夫	評価項目・方法
10分	<p>Warming up</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 挨拶をする ・ 既習事項を用いた会話をする。 <p>前時の復習で、when 節、because 節を用いた英文を音読する。</p> <p>本時の学習内容を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ when 節、because 節を用いた英文を作ることを知る。 	全	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日常の挨拶や会話の中に復習事項を加えて、挨拶の内容を少しずつ膨らませていく。 <p>(例)</p> <p>【How is the weather?】 【It's sunny.】 【Do you like sunny day?】【Yes.No.】 【Why do you like?】 【Because sunny day is comfortable.】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 前時を思い出し、既習内容が活用できるよう様々な場面で使わせるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 進んでコミュニケーションを図ろうとしている。 (発表の観察)
30分	<p>場面や状況に応じて、when ~ を含んだ文章を書く。</p> <p>(ワークシート)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 家にいるとき ~ する。 ・ 学校に行くとき ~ する。 ・ 暇なとき ~ する。 ・ 時間があるとき ~ する。 <p>場面や状況に応じて、because ~ を含んだ文や賛成や反対の文章を書く。</p> <p>(ワークシート)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 私は忙しいので、~ だ ・ 雨が降っているので ~ だ ・ 私は ~ なので、~ に賛成です。 ・ 私は ~ なので、~ に反対です。 <p>作った文章をグループで発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 発表された英文を聞いたり、書いたりする。 ・ 【日本語を英文にしましょう】カードにできた英文を書く。 <p>ペアで、作った英文を用いて会話する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>A: 自分の英文を言う。 And you? と聞く。 B: (相手が) 自分の英文を言う</p> </div>	<p>個</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ when ~、because ~ を用いた英文が場面や状況に応じて正しく書けるように、様々な場面の英文を考えさせる。 ・ なかなか英文を作れない生徒に対して【日本語を英文にしましょう】ワークシートを活用したり、前時の会話練習カード4 - を活用してもよいことを話す。 <p>グ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 友達の英文に触れさせ様々なwhen ~ や because ~ の書き方を知らせる。 <p>ペア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ここで学習したことが次回の意見文等の文で使えるよう練習させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ when 節 や because 節 を用いた英文が正しく書ける。(ワークシート) ・ when 節 や because 節 を用いた英文を友達に伝えられる。(発表の観察) 	
10分	<p>学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 振り返りカード6に記入する。 <p>次時の内容について聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 意見文を書くことを知る。 	<p>個</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 場面や状況に応じて、when ~ や because ~ を使えたか、確認する。 <p>全</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学習したことを生かして、次回からは、記事を読んでグループで意見文を書くこと知らせる。 		

英語科学習指導案 第7時 (7/9)

1. 学習目標

既習の語句や英文を用いて、3つの記事の内容が理解できる。
まとまりのある意見文の書き方を知り、大切な言葉を見付けることができる。

2. 準備

教師：・ 掲示用カラー（青・赤・黄色）カード、自作教材記事（A部活動、B趣味、C携帯電話）カード、自分の考えを伝えようカード、意見文の書き方提示用、
・ カラー付箋紙（赤・青・黄）、振り返りシート7、Flash Card、Picture Card

生徒：教科書、辞書

3. 展開

時間	主な学習活動	形態	指導上の留意点および支援の工夫	評価項目・方法
10分	<p>Warming up ・ 挨拶をする。 ・ 既習事項を用いた会話をする。</p> <p>本時の学習内容を知る。 ・ 生徒の話し合いたい内容に応じた記事を選択して、意見文を書くことを知る。</p>	全	<p>・ 既習事項が繰り返し練習できるように、会話の中に入れていく。</p> <p>・ 身近な問題に目を向けさせるため、生徒の関心のある内容について自作教材を提示する。</p>	<p>・ 進んでコミュニケーションを図ろうとしている。（発表の観察）</p>
30分	<p>3つの記事の内容を理解する。 部活動についての記事 趣味についての記事 携帯電話についての記事</p> <p>・ 教師の model reading を聞く ・ 本文を黙読する。 ・ 内容について、簡単な質問に答える。 ・ 本文を音読する。 ・ チャンクに分けて正確に英文和訳する。 ・ 記事の内容の概要を理解する。 ・ 大切な文を見つける。</p> <p>意見文の書き方を知る。 どの記事を読んで、意見文を書いたか述べる。 ～に賛成である。～に反対である。について、理由を述べて書く。 記事について考えたことを書く。 記事の内容から、自分の身近な生活等に触れて書く。） ・ 「もし～だったら」と考える意見も書く。 これから自分たちがすべきことやできることを考え書く。 グループで、どの記事についての意見文を書くか話し合い、決定する。 ・ 記事の内容を確認するプリントをする。 ・ プリントをした後、どんなことが書けそうか、話しあいながら意見のメモを取る。</p>	全 個 グ	<p>・ 興味のある記事が選択できるように3つの記事の概要を知らせる。</p> <p>・ 記事の中で、大切な文を読み取り、意見文の中に取り入れるよう支援する。</p> <p>・ 単発的な英文は書けても、起承転結のある文章を書くことに課題があるので、書き方については、その方向性を支援する。</p> <p>・ グループで協力できるよう各記事の内容をもう一度知らせながら支援する。</p>	<p>・ 3つの記事の内容の概要が理解できる。（ワークシート）</p> <p>・ キーワードを見付け、意見文の書き方が理解できる。（ワークシート）</p>
10分	<p>学習を振り返る。 ・ 振り返りカードに記入する。</p> <p>次時の内容について聞く。 ・ 次時は、意見文を書くことを知る。</p>	個 全	<p>・ 記事について、自分の考えがさらにもてるよう記事の内容をもう一度確認させる。</p> <p>・ 記事について、次回は、グループで意見文を書くので、思いついたことをメモしてくるよう話す。</p>	

英語科学習指導案 第8時 (8/9)

1. 学習目標

既習の語句や英文を用いて、3つの記事の中から選択した記事に対する意見をグループで話し合い、英文が書ける。

2. 準備

教師：掲示用カラー（青・赤・黄）カード、【日本語を英文にしましょう】ワークシート、カラー付箋紙（赤・青・黄）、振り返りカード8

生徒：教科書、自分の考えを伝えようカード

3. 展開

時間	主な学習活動	形態	指導上の留意点および支援の工夫	評価項目・方法
10分	<p>Warming up</p> <ul style="list-style-type: none"> ・挨拶をする。 ・既習事項を用いた会話をする。 <p>本時の学習内容を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・未習の3つの記事の中から、興味のある記事を選び、グループで意見文を書くことを確認する。 	全	<ul style="list-style-type: none"> ・日常の挨拶や会話の中に復習事項を加えて、挨拶の内容を少しずつ膨らませていく。 ・様々な記事に興味を持たせるとともに、色々な意見文が書けることを知らせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・進んでコミュニケーションを図ろうとしている。（発表の観察）
30分	<p>内容の概要を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3つの記事を音読する。 <p>記事に対して、どんな意見文が書けるか日本語で考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選択した記事をグループ音読する。 ・個人で考える。 ・グループで話し合う。 <p>他の生徒にも意見を聞き情報を集める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・～についてどう思いますか。 ・～を持っていますか。 など。 <p>聞き取り調査から分かったことを日本語の意見文にたす。</p> <p>記事に対しての意見を英文にする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書けそうな意見文を個人で英文にする。 <p>グループで英文を交換する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意見文を直したり、より分かりやすい表現にしたりする。 	全 ゲ 個 ゲ	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な記事に触れることで、様々な考えをもたせる。 ・グループで選択した記事の内容の概要について再度確認する。 ・情報を集めるために、英語で質問する。答え方は、英語でも日本語でも良いこととする。） ・既習の語彙や文を思い出しながら、活用するよう支援する。 ・難しい表現に対しては、既習の語句が使えるよう書き直したり、グループで協力して英文にすることを話す。 ・まとまりのある筋道の通った意見文になるよう流れを支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・選択した記事の内容を理解し、英文の意見文の基となる考えがまとめられる。（ワークシート） ・記事に対する意見文が英文に直せる。（ワークシート）
10分	<p>学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・振り返りカードに記入する。 <p>次時の内容について聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意見文の発表会をすることを知らせる。 	個 全	<ul style="list-style-type: none"> ・お互いに教え合い、学び合うことで、色々な英文が書けることを実感させる。 ・各グループが自信をもって発表できるように、今後も協力していくことを話す。 	

英語科学習指導案 第9時 (9/9)

1. 学習目標

既習の語句や英文を用いて、グループで意見文をまとめ、推敲できる。
意見文の発表会を行い、様々な意見文の表現を知ることができる。

2. 準備

教師：・掲示用カラー（青・赤・黄）カード、
・カラー付箋紙（赤・青・黄）、振り返りカード9
・【日本語を英文にしましょう】カード、感想カード、グループ意見文カード

生徒：教科書、辞書、ヒントカード、自分の考えを伝えようカード

3. 展開

時間	主な学習活動	形態	指導上の留意点および支援の工夫	評価項目・方法
10分	<p>Warming up</p> <ul style="list-style-type: none"> ・挨拶をする。 ・既習事項を用いた会話をする。 <p>本時の学習内容を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意見文を推敲し、より分かりやすい意見文に直し、発表することを確認する。 	全	<ul style="list-style-type: none"> ・日常の挨拶や会話の中に復習事項を加えて、挨拶の内容を少しずつ膨らませていく。 ・より分かりやすい意見文にするようまとめ方を説明する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・進んでコミュニケーションを図ろうとしている。（発表の観察）
30分	<p>内容の概要を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3つの記事を音読する。 ・グループ毎に選択した記事を音読する。 <p>グループで意見文をまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループで、各々から出された意見文を音読する。 ・意見文を選択したり、より分かりやすい表現になるようにグループで、考える。 ・分かりやすい意見文になるように、持ち寄った英文をを順番を並び替える。 <p>グループで、意見文を推敲する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文の順番や語彙について考え、より分かりやすい英文にする。 ・接続詞を使ったり意見文としてたりない内容を補足する。 ・意見文をグループで音読する ・意見文を清書する。 <p>教科書以外の記事3つをもう一度読んで内容を確認してから、意見文の発表会をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発表を聞ききながら、感想を書く。 	全 ゲ 全	<ul style="list-style-type: none"> ・お互いの意見文を大切に扱うよう話す。 【推敲内容】 正しく英文が書けているか。 皆に分かりやすく英文が並んでいるか。 訴えたいことがあるか。 について、グループで協力して行うよう支援する。 ・他のグループの記事にも興味をもたせ、様々な角度から意見をもたせ、書く内容の幅を広げさせる。 ・様々な意見文に触れながら、表現の仕方を学ぶよう話す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・英文の誤りを皆で推敲しながら、正しく書けている。（ワークシート） ・皆の前で、明確に英文が読めたか。また、意見文の内容が理解できる。（観察）（ワークシート）
10分	<p>学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・振り返りカードに記入する。 <p>次時の内容について聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・listening や speaking を学習することを知る。 	個 全	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な意見文を聞いて、文構造を知ると様々な文が容易に書けるようになることを知らせる。 ・今後も様々なことについて、考えて、書くことの大切さを知らせる。 	